

SHIROYAMA Cooperative Childcare

名称 しroyama共同保育園
所在地 佐伯市中の島1丁目4番45号
電話番号 0972-23-1850
開園 1991年7月1日
園児の定員 55名（概ね10か月～小学校入学前まで）
休園日 日曜日、祝日、お盆（8/13～8/16）
年未年始（12/29～1/4）
保育時間 平日7:20～18:00
平日延長18:00～18:30
土曜日7:20～13:00
土曜日延長13:00～17:00



しroyama共同保育園

詳しくはホームページで！

<https://shiroyama-kyouho.com>



<https://www.facebook.com/shiroyamakyouho>



<https://www.instagram.com/shiroyamakyouho/>



しroyama共同保育園

しroyama共同保育園は、“子どもを真ん中に”、大人たちがつながり運営する佐伯市で唯一の地域に根ざした「共同保育園」です。共同保育園とは、保育園に通う子どもの保護者が共同で園の運営に関わっていく仕組みです。子どもたちが大きく成長する乳幼児期、子どもたちが明るく、たくましく、やさしい子どもに育っていく過程を保護者が指導者と共に見守り、支えています。悩みも、喜びも、分かち合いながら、子どもが育つ環境を一緒に考え、つくっていきます。それぞれが“できることを、できるときに”。

生活の中にある
たくさんの「遊び」。
生きる活動を
「楽しみ」ながら、
「遊びこみ」ながら。
生きる力を育む
しroyama共同保育園



★全面発達★ 心も体も豊かに育てる

日々の生活の一つ一つが子どもたちの
全面発達につながっています。

8じ30ぶん

小さい組の子も、
憧れの大きい組の子
を見ながら挑戦！
一緒に育ちます

どうきんがけ (年長組編)

手指
しほる
達成感
言葉
人間関係
協力
指先に力を入れて
紐をつかむ
言葉
よいしょ！
人間関係

きれいになった♪

蹴る

ヨウイ！ドン！！

負けないぞ〜
競争！

異年齢のお友達と交流し、自覚や思いやり、
やさしさ、大きい子への憧れが育ちます

◎全身運動で 「バランス良い発達」を

楽しく動いて心も身体ものびやかに。
手指・足指をしっかり使うことが
脳の発達につながります。



◎豊かな話し言葉と認識

◎様々な体験の中で、
人の話をよく聞き、自分の経験や
思いを伝えられる力が育ちます。
◎絵本や物語など
豊かな文化に
触れる体験を
大事にします。

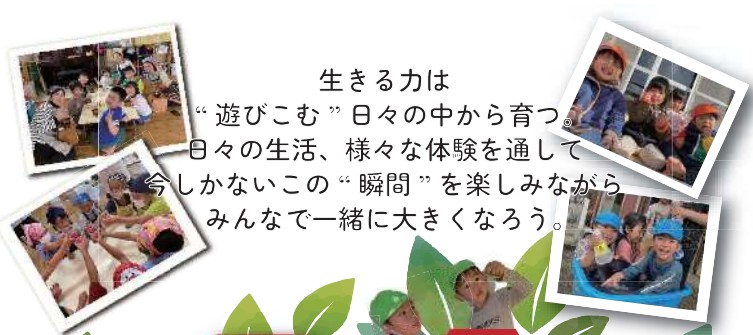
ともだちと
楽しく
遊ぼう

自分の思いを
はっきり
伝えよう

意欲を
持って
何でも
取り組もう

生活リズムを
正しく
身につけよう

好き嫌いを
何でも
食べよう



障がいがあってもなくても、育つ道筋は同じ。

【生活する力】
生活や遊びそのものが発達につながります

乳幼児期に大切なこと
育てたい力
思春期を見通して
人間として生きる力の土台づくり

◎豊かな自然の中で
「ゆたかな感性」を育てる

毎日お天気の日はお散歩に出かけています。虫や小動物に触れ、
四季折々の草花・樹木の変化を楽しみ、自然の中で思いっきり遊
びます。月に一回の遠足(お弁当日)には、海・川・滝・道の駅
やよい・つくみん公園・大入島・山登り(城山・龍王山・とがむ
れ・彦岳等)・高崎山&うみたまごなど色んな場所に足を運びま
す。

◎子どもたちに伝えたい
“食”の大切さ。

「食べることは生きること。」
1年を通して、種まき・栽培や収穫、調理まで
一連して関わることでより“深い”食育を実践しています。
(詳しくはホームページをご覧ください)

◎「生活する力」を育てる
基本的生活習慣の自立

◎身の回りの事を”ジブンデ”する
意欲と力を育てます
◎見通しを持って行動できる力を育てます

《「食べることは生きること」おいしく食べよう》
茶色い玄米、自分たちで作ったお味噌のお味噌汁、
佐伯産のお野菜、すぐそばで水揚げされた魚、
無添加調味料など、子どもたちの味覚を育てる
“食”を大切にしています。
《生活リズムは発達の土台》
「早寝・早起き」生活リズムが整うよう
日中はしっかり身体を動かし、
心が豊かになる活動を行います

健康的な
心と体

生活習慣
の
自立

豊かな
話し言葉

社会性

意欲・
探求心

就学期を見通して